

第 4 回 淀川左岸線延伸部の淀川左岸堤防区間に関する技術検討委員会 議事要旨

1. 日 時 : 令和 4 年 3 月 18 日(金) 10:00～11:00

2. 場 所 : 大阪合同庁舎 1 号館 第一別館 2 階 大会議室(WEB 併用)

3. 出席者:

【委員】

◎大西 有三	京都大学 名誉教授
清野 純史	京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 教授
佐々木 哲也	土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員
建山 和由	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授
中川 一	京都大学 名誉教授
福島 雅紀	国土技術政策総合研究所 河川研究室長

【オブザーバー】

小島 優	近畿地方整備局 河川部長
波多野 真樹	近畿地方整備局 淀川河川事務所長

※ 敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議 事

○資料-1 に示す規約の一部改訂(案)、資料-2-1 に示す第 3 回淀川左岸線延伸部の淀川左岸堤防区間に関する技術検討委員会 議事要旨、資料-2-2 に示す過去の委員会の主な意見に対する対応方針(案)について、了承された。

○資料-3 に示す検討断面の形状等の変更について、承認がなされた。

○資料-4-1、4-2 に示す一体構造物の安全性の照査結果【完成時】【施工時】、資料-4-3 に示す交通振動が堤防の安全性に及ぼす影響に関する検討について、承認がなされた。ただし、以下のコメントを頂いた。

- ・浸透作用に対する安全性検証について、淀川左岸線 2 期と比較して急勾配となる今回の条件では、対策として堤内側を全て遮水シートで覆うと、遮水シート上面の覆土が滑る、併せて堤体の通気性に問題が生じる懸念があることに留意されたい。
- ・浮き上がり照査の検討水位 2 の条件がどのような事象を想定しているのか、堤防高さとの関係も含め改めて確認されたい。
- ・交通振動の照査において、周辺環境への影響についても確認されたい。

○資料-5 に示す完成時における一体構造物のモニタリングに関する検討(案)(開削ボックス区間)について、承認がなされた。ただし、以下のコメントを頂いた。

- ・張芝、護岸、降雨浸透対策工などのモニタリング時期は豪雨後も実施することが望ましい。
- ・道路構造物周りの砕石による浸透対策工について、透水層が機能しているかを確認することを目的として、水位の確認を行うことが望ましい。
- ・定量的評価の妥当性検証モニタリングにおける地震時の一体構造物の挙動について、解析の妥当性の検証は、大規模地震だけでなく中規模地震も対象に加える方向で検討されたい。
- ・工事中におけるモニタリングも重要であり、淀川左岸線 2 期の知見も取り入れられたい。
- ・維持管理モニタリングでは、初期状態をしっかりと記録することが重要である。また、完成後に向けて、BIM/CIM を活用した検討も取り入れていくのが良い。

○資料-6 に示す委員会の検討スケジュール(案)について、了承された。

以 上